



ちょっと消耗品の寿命が来たので交換をしたことになります。

ピット内の水位計のスイッチだとか、弁の開閉を検知するリミットスイッチだとか、あとバケットなどのゴムストッパーとか、そういった消耗品の交換が主体になってございます。運転報告は以上でございます。

司会 何か質問等、ございますか。

利用者の会 このシステム異常発報対応、11件ですね。備考欄に書いているように、これまでは67件、47件、今年度11件。物すごく急減しています。これまでだったら、弁関係が物すごく多かったような気がしているけど、今回、11件に対して、所感というか感想がありましたら。

TMES やっぱり弁が多いです、実はモニターで解除しているケース。これですけど、22年度は、機械的にはグリスアップとか清掃が、少し例年に比べて、やってないことをやったというよりは少し念入りにといたしますか。

利用者の会 それを言ってほしかったと思います。定期点検に、こういうことに対する対応でこれまであれやったけど、さらに念入りにグリスアップとか給油ですね。

TMES 給油とか、そういった動きの手入れを少しやりました。

利用者の会 清掃・点検・給油・増し締めとか、その辺の点検のあれが大事になってきますからね。

TMES そうですね、そのあたりを重点的に行った結果だと。

利用者の会 「それをやった成果が、ひよっとしたら出ていますよ」ということですね。これまで以上にやりましたよと。

TMES あと、通信関係の各投入口に制御盤がありますけど、そういった基盤を積んでいるんですけど、トラブルは起こってないですけど、そういったものも、少し異常が出たところは替えてみることもしましたので、このあたりの効果も少し出たのかなというのはあります。

利用者の会 TMESさんの現場の人が頑張ってくれた成果が出ていると、来月も期待。

TMES 引き続き継続してまいります。

利用者の会 あと、カギも、利用者から連絡対応で毎回同じように出ているんだけど、今回は6件で、これも減っている感じになりますね。

TMES ステッカーを貼らせていただいたので、啓発というとあれですけど、「こう戻してください」の、あの辺の効果は少し。

利用者の会 それも、ここにも張っているわけですね、ステッカーを。

TMES ここには張っていないんですけど。

利用者の会 カギは張っていない。

TMES 発生したところは、全部張っています。

利用者の会 今回のこれ、張ってもうてる。

TMES ここは全部張りました。

利用者の会 張ってもうてるわけね。

TMES 発生した後に。

利用者の会 それも張った、あれ張ったら、そのカギを見ますから、そこを必ずこうやって。

TMES そうですね。張らせていただいたので、こういったところも再発が防げます。

利用者の会 再発を防ぐ、期待ですね。

TMES 期待です。

利用者の会 あとはバケットの系統ですね、これは。バケットのごみ詰まり。これは、今変えようってやろうとしているところですから、これも期待ですね。それも、今回ものすごく減ってよかったです。

利用者の会 これ見ても、住民起因による障害は特になかったということですね。

TMES 巡回点検、すみません、バケットのごみ詰まりだけは、少し住民様に起因というか、あるんですけど、つけさせてもうて。3番とか5番とか7番、お手元の資料。このあたり、書類の上でちょっと。

利用者の会 疑いがある。

TMES していますけど。

利用者の会 それと、システム異常発報で8番。排出弁にごみかみというのは、どういう状況だったんですか。

TMES 排出弁が金属の板ですけど、水平に動いている。どうしても細かいごみが隙間に入って、開いたり閉めたりする抵抗になって閉め切らない、開き切らないパターンがこれになります。濡れたごみとかだと、そういうことが起こりやすい。

利用者の会 起こりやすい。

TMES です。濡れたごみです。

利用者の会 では、今後もあり得る。

TMES あり得ると思います。そのあたりはすぐ現場へ急行して、当然対応はできる。

利用者の会 利用者からの連絡で2番と6番、バケット下にごみ詰まりは、やっぱり前

から話ししているごみ袋が少し大き過ぎて。

TMES                   あるかもしれないです。

利用者の会           中身に対して、ごみ袋が大き過ぎて。

TMES                   挟まってしまう。

利用者の会           小さくコンパクトにして入れれば、防げるものである。

TMES                   コンパクトで、ふわふわしてない状態であれば、大分防げるのではないかと。ごみが結構詰まっている状態ですから。

司会                   ほかに御質問等、ございますか。今年度につきましては、利用者の会でも啓発していただいて、大分件数が少なくなったのかなとも思いますので、引き続き、当方で啓発等していきたいなと思いますので、今年度もよろしく願いたいします。

                          続きまして、議題2の啓発ごみ一覧。

利用者の会           もう一つの資料1の年間で、分析しました。一度、パイプラインで2022年度の分析をしています。

林さんから1年間分のデータをいただきまして、時間がなくて大雑把なものになったんですけど、取りあえず分析だけはしました。

私は、チャットGPTの有料会員ですので、これも全部、チャットGPTにお伺いを立てて、こんなのでもいいですかと言ったら、あかんと言われました。分析はしとるけども対策が弱いと叱られました。けども、対策はなかなか難しい面があります。今回は分析。

分析、最初にチャットGPTは、分析するからには目的を明確にしないといいうアドバイスをいただきまして、目的を2つ掲げました。

1つは、何度も同じ問題が発生していることがあったんですけど、事象を洗い出しましょうということで、今回洗い出した。それから、利用者が原因で発生している。これは利用者の側の問題ですので、これを何とかしたい。この2つを分析したいなということで、今回やりました。

最初に、去年のデータもあったので、去年のデータと比べたら半減しているんです。幾ら利用者ばかりが頑張っても、TMESさんが頑張っても、半減することは通常考えられません。よほどむちゃくちゃ新しいものに替わったらトラブルはないでしょうけど、ほとんど現状は劣化の状態が進んでいる。何で半減したかというのは、まず明確にしないと、このデータそのものが疑いをかけられる。本当にこのデータ、正しいんだろうかということで、何でこんなに減ったんだろうということを考えなきゃいかんかなというのは、1つあります。

システム異常発報の話です。データは後ろに全部まとめていますので、それを見ていただければ。

コメントとしては、やっぱり弁の問題が多い。排出弁、遮断弁、吸気弁、これだけで全体の88%で、この弁をどうするか。ただし、中身を見たら、センタ

ーで操作すればすぐ直るのがほとんどですので、これは仕方がないとするか。何か手を打っていくのか、そろそろ考えなきゃいけない話だと思います。まず、システム異常発報では、この3つが非常に多い。だから、対策を絞るならこの3つをしたらいいのじゃないかというのがあります。

次のページ、今度は町別に見たんです。町別に見たらどうなのかで見ましたら、浜風、潮見、緑区が多い。この3つでトラブルが多い。古いのもあるでしょうし、昨日話があったように、浜風はセンターに近いので、それで問題も多いんじゃないかということで、この辺が1つあるかな。

それから、問合せの話では、バケットの下のごみ詰まりと、さっきおっしゃったカギ穴、カギを途中で抜くのがあります。これが、非常に今回は多かったなという気がします。この辺は、バケットの下は後でも出ますけども、対策をやっていこうと、その認識は正しいかと思います。

次のページが、今度は巡回点検です。巡回点検という結果で、これもバケットが非常に多い。ですから、私たちが対策するのは、このバケットの部分に焦点を絞ってやるのが。ちょっとショックアブソーバーに関しては、これは不良なので、どうするか、交換を先にするのか、終わってから保証でするのかは考えないといけませんけど、バケットが主にトラブルになっています。

次のページからは、それぞれの3つの分類でどんな問題があって、それはどういうふうに確認して、作業はどうしたかというのが町別にデータをソートしたものです。

ちょっと気になるのが、最初のページに戻りまして、なぜ減ったのか。5割も減るのは考えられません。ここだけは確認要かなと思います。TMESさんの御意見を聞きたいですけど。

## TMES

システム異常ですけど、2021年度が214、2022年度99。この内訳を見たんですけど、モニターの解除が、2021年が180回ぐらいあったのが、2022年度50回ぐらいになっています。これが、先ほど申し上げたピット内の機器の定期的な手入れ、それから通信用の基盤、在庫品がございまして、異常とか故障ではないですけど、新しい在庫へ積極的に替えさせていただいた。そのあたりの効果があったのかと思います。

あとの内訳では、現場対応を多めに組み込んでいたり、何か詰まっている。実は、現場で対応した数は、旧年と今年では変わらなかったです。40件台ぐらいで、同じぐらいだったので。モニターの解除が激減しております。トータルで、前年比が55%台になっております。

お問合せのほうですけど、カギのトラブルは、ほぼ20件前後で変わらなかったです。比較したんです。バケットの詰まりは、お問合せだけを見ると、実は2021年度が42件ぐらいだったんですけど、2022年度は15件。巡回点検と、実はバケット詰まりを足し算しましたら、ほぼ変わらなかったです。前の年と今年で。発見するタイミングの問題だったのかなと、それは思います。巡回は2週間に1回で発見することが、2022年度が多かったです。反面、お問合せが少なかった。足し算したら、あまり変化なかった。

あと、全体が、お問合せが、巡回のバケット詰まりをお問合せに足し算すると、あまり変化がなかったということです。あと、巡回定期点検ですけど、2021年度は輸送管の中に水が入りまして、排水作業が結構多かったです。これを、巡回点検に計上されているのが40件程度ございました。それから、カギのトラブルも40件程度ありました。2021年度です。2022年度は、巡回点検で8件ですけど。そのあたりの差違が、この巡回定期のその要因といえますか、なっているかと思います。

下の臨時対応は、2021年度、やっぱり水がたくさん入っていた排水ですね、パイプライン。それに伴う水中ポンドを施工したりしたものが、臨時対応で上げたんですけど。2022年度は、臨時というよりは、巡回点検とか定期点検の中でそれを実施したりしたので、その差が、この数字でゼロ件になっています。この発報は、すみません、記入漏れがあったのかもしれないです。システムか問合せか巡回、どれかだったと思います。

利用者の会

今年度また見て、今年度の状況になるとは思いますけど、問合せに関しては、例の変な物を入れてしまったので何とかしてくれというのがゼロ件だと思うので、それで少しは少なくなったかなと思いますけど、今、御説明を聞きまして、まだ100%納得はしておりませんが、もうちょっと2023年度を見ながらデータの数字を見ていこうかな。

ただ、このデータは正確じゃないと分析する意味ありませんので、その点はくれぐれも御了承をいただきたいなと思います。私は以上です。

利用者の会

あとは、システム異常で貯留ドラムも毎回起こっているの、この辺も、何か詰まった物の材質から、またアピールしてもらったらいいと思いますけど。

TMES

はい。

利用者の会

今回もこれ、ありますよね。南芦屋浜の高層のほうですよ。

TMES

陽光町です。

利用者の会

陽光町ですね、貯留ドラム。何で毎回起こっているのやと、その辺の原因ですね。また、アピールをお願いしたいと思います。

司会

ほかに質問事項等、ございますか。ないようでしたら、次の議題に移ります。議題2の啓発ごみ一覧。令和4年度資料2を御確認願います。

市

資料2を御説明させていただきます。

皆さんと蓄積している資料になります。今回、年度が変わりましたので、振り返りも含めまして、御報告のみさせていただきます。

実際、定期点検とか問合せとかシステム異常の件で、現場の方は行かせていただいて、令和4年度啓発したごみを一覧にして、写真をつけて図面に落としました。色分けで、令和4年度に関しては緑色の部分になります。件数としては、表裏で6件ございます。

一番古いのが浜風町、これぎりぎりだったんですけども、令和3年度3月28

日に発見されて、令和4年度に啓発したので、取りあえず載せております。金属金具、椅子とかの部品なのかなと思っております。あと、上に行くと、おもちゃ、プラスチックですけど、ちょっと30センチを超えて、バケツとかに詰まっている物。あと左に、石、ブロック、あとラチェットとかナイフですね、あと鉄アレイ。鉄アレイが2件ございました。そんな重たくはない、1キロ程度の鉄アレイですけど、ちょっと大丈夫だろうと、入れてしまった方がいらっしゃったと思います。

あと裏面を見ていただくと、こちらは陽光町の新聞です。これも、2日ぐらいかけて大量に入れられた、かなり大変でした。

これにつきましては、全て利用者の会に御連絡をさせてもらって、それに応じて現場に啓発しております。啓発した部分について、ごみ的な物を勝手に持って帰られた方も多かったです。

こういう形は、事前に現場の方がおって、輸送管に入るまで現場の投入口の下で全て撤去した物になります。見つけられた物だけでも、これだけではありません、今後こういった物が、啓発して行って、少なくなればいいかなと思っております。今回については報告のみになりますので、以上になります。

利用者の会  
市

令和2年ですか、大量の教科書。これ、持ち主は分かったんだっただかな。子供の教科書だったんです。住所は載ってなくて、名前は載っているんですけど、それを。

利用者の会  
市

名前は書いてなかった。  
名前は、たしか名字までは書いていたんですけども、分からなかったです、それ以上は。

利用者の会  
市

分からない。  
4月3日なので、多分学年が変わって、大量に捨てられたのかなと思います。こういった物は分別として、ここに捨てる物ではありませんので、再生資源とか芦屋市の行政回収でしたら、紙資源に出してもらっている物だと思います。

利用者の会  
市

教科書なんか、大体名前を書いたりするんですか。

いや、書いている物は書いている。プリントとかもいろいろ。

利用者の会

このやつ。

利用者の会

教科書。

利用者の会

そっちか。

市

はっきりと今覚えてはいないですけど。2年前ですかね。

利用者の会

以前、持ち主が分かって注意したことはあったよね。

市 行かせてもらって。郵便とかだったら住所とか分かって、前、私と尾川で行かせてもらったりするんですけど、大体怒られます。

市 個人情報関係があって、すごくややこしいので。

利用者の会 オープンはできなくても、環境処理センターとしては、持ち主が分かれば注意する。

市 分かれば行きます。ただ、大体は怒られます。

市 何であかんねんってこと。

市 いや、そんなごみあさって、個人情報やろう。

利用者の会 いや、詰まったから持っていった。

市 それはそうですね。

利用者の会 詰まったから持って行ってん、詰まらなかつたら持っていけへん。

市 そうです。それを理解してくれる方と、理解してくれない方が。

利用者の会 逆に教科書なんて、学校で。終業式が終わった後に、学校で要らん物、全部そこに持ち込みさせて、それをこちらに持ってくるとか、そういうことができないですかね。そうすると、個人が要らんからといって。

市 恥ずかしい話、小学校が詰めたものもあったので。

利用者の会 小学校が詰めた、あったな。

市 大分前ですよ。

利用者の会 学校の先生？

利用者の会 大分前やな。

市 学校が詰めた。

利用者の会 学校の先生が一番レベル低い。

市 確かに年度替わりとか、高校生から大学生になったとかで捨てはる方がいらっしゃって。1回、でも行ったな。

市 あれは行ってない。

市 住所が分からん、名前が分かって住所が分からんかった。

市 教科書とかに住所までは書いてないですからね。

市 さすがにそこから住所を割り出してとなると、本当に個人情報関係になっちゃうので。



利用者の会 集めるといふ何かルールがあれば。

市 そうですね。

利用者の会 上手にできる。

利用者の会 それで、令和2年9月の分あるでしょう。本。

市 ラヴェールIIIのやつですね。

利用者の会 ラヴェールのやつで、介護の本やったんです。名前も調べたけど、名前も何も出てなかつたのです。それで、しばらく展示しとつたから。

市 何かなくなつたんですよ、たしか。

利用者の会 そのうちなくなつたか、そんな感じだつた。なかなか、教科書に必ず名前書いていたとは限らへんから。

市 逆に名前を書いてないから、そうして掲示をして、啓発をして、多分本人が気づいて引き下げたのか、もう一回取りに来たのかは分からへんけど、そういう形で。一応、啓発にはなつていふのかなと思うけど。

利用者の会 件数が少ないですからいいですけど。もし、たくさん出るんだつたら、これは資源回収とかそちらに出してくださいというのを掲示するかですよ。

利用者の会 相変わらず鉄アレイとか金属ものが捨てられていると、はっきり言って、これを啓発してというのを、どういふふうにするか。捨てる者は、いつまでたつてもこういうことをやるのかなと。

利用者の会 子供が入れるのかな、中学生か。

利用者の会 令和4年でしょう。もっと前からありましたよね、もっと重たい鉄アレイとか。

市 鉄アレイより、もっと重たいです。

利用者の会 バッテリー。

市 本当に3キロとか4キロ、5キロですかね。ほんまに昔だと、車のバッテリーとかも入れられたりしてつたので。

利用者の会 バッテリーがあつたな。

利用者の会 バケツのところに張つたとしても、捨てる人間は捨てよと思う。

市 継続して啓発していかないと。

利用者の会 もう継続や、それをしつこくやっていくしかないわ。

市 こういふ形で、1年ごとに1回見直すという形も。見直すという場を設けたいと思いますけど、今回、表にまとめさせていただきました。

利用者の会 市 これは透明パッキン、ケース。  
市 クリアケース。  
利用者の会 市 これ、全部投入口の横に置いていたのかな。  
市 そうですね、できるものはやっています。都度、皆さんには御協議させても  
らっているとは思いますが、ブロックを置いて、また入れられるのもあれ  
なので。  
市 基本的には、全部掲示してやっています。ただ、危険な物とかはやめてい  
ますけども。基本的には、透明のクリアケースに入れて、横に置いて。1週  
間ぐらい置いて。よくあるのは、それがまたなくなってしまうというのがよくあるん  
です。気づいて引き取ってくれるんだったらいいけど、自分のだと分かって、も  
う一回投入されたら、結局何回も同じことをしないとあかん。  
利用者の会 市 そんなことあったん。  
市 なくなっているのは、どっちか分からない。  
利用者の会 市 いや、なくなっているのは。また投入されて、トラブルが起こったことがあつ  
た。  
市 いや、それはないです。  
利用者の会 市 それはないな。  
市 ただ、なくなったから分からない。  
利用者の会 市 持って帰ったと信じる。  
利用者の会 市 後で、燃えないごみの日に出してくれたと思わないとしようない。  
市 これは、町なかの普通のごみステーションでも起こって、その対策としてや  
っているやり方とも似ているんですけど。不法投棄もあれば、分別ルール違  
いもあって、ごみの収集車が取らずに、取れずに置いていったときに啓発シ  
ールを張って、理由を書いて。1週間ぐらいして、ちゃんと控えていて、見にい  
く。本当に昔から繰り返し、繰り返し。もうこつこつですね。  
せめて、同じ方が次出せへんようになるとか、そのステーションではそういう  
ことが起これへんようになることが広がっていただきたいです。  
新しく転入してこられた方ですとか、ほかの市とそれぞれルールが違います  
ので。ただ、大概のところは、そもそも何でも入れていいやと思ってしまっ  
てる人とかもおるので、こういう取組みは大事なかと。  
利用者の会 市 何でも捨ててもいいよという頃から比べたら、かなり年数たっているよね。そ  
れを、まだそういうふうに思っている人がいるのが、ちょっとよく分からんな。  
利用者の会 市 分かっている人も入れる人がおるね。

市 だから、分かっているけど入れるのは、見張っている目があるぞということを示しながら、減っていくか、こうやって個別に上げてか。同じ人か、これまでの啓発した鉄アレイを入れた人と、また全然新しい人があかんって分かっているのか。

利用者の会 年1回かな、冊子配られていますわね。燃えるごみはこんなのやとか、あれは入れて、これは環境処理センターへとか。それね。

市 今回、作り直して。

利用者の会 それも今回見直して。それも大分分厚なっているのと違いますか。それで配って、読んでいる人がいるかな。

市 これは百科事典みたいになっちゃっています。最初から最後まで読んで頭に入るというのは、なかなか難しい。

利用者の会 なかなかね。それも燃える、市の指定ごみ袋についても、今回書いてはるでしょう。

市 はい。

利用者の会 あれ、皆見ました。指定ごみ袋を、こんなときに使いなさい。

利用者の会 置いているけど、ちょっとまだ。

利用者の会 読んでないでしょう。昨日か、野村さんもそれを聞いていて、このごみは指定ごみ袋使わないかんのか。ということは、読んでないねん。来たけど、直しているわけです。

市 そこからですね。ほられたりしてしまつたら、どうしようもないですけど、せめて置いといてください。保存版です。御質問なり、トラブルがあったときは、一遍ここを確認してみてください。これを配っただけで、全て皆さんが理解してくださって、そのとおりやってくださるなんて思つたら、こっちもあかんと思うんですけど。

利用者の会 でも、この中にいる野村さんかて、それが来ても、市のごみ袋について書いているけど、興味あつたら、それ見るべきやけど、見てない。という状況で、何が言いたかつたかというたら、あまりにも分厚過ぎるんです。

極端に言うたら、パイプライン地域のやつだけ取り出して、それを載せたら、やっぱり興味あります。パイプライン地域だつたら、パイプライン地域のごみ袋が書いてあつたら。袋、これ見とかないとあかんわ。指定ごみ袋を書いてあつたら、見ますわね。ほな、燃やすごみ、パイプライン入れるごみとその他燃やすごみとかそれは、ごみ袋を使わないとあかんのやとか、ほかのやつは適当でいいやというのが分かるから、あまりにも分厚いから。

市 これが、市がやること、全市宛なので。これと別に、毎年ごみカレンダー。

利用者の会 カレンダーは見ていますけどね。

- 市 カレンダーは地域ごとに作ったやつ。
- 利用者の会 もちろん。曜日が違うから、そうなっているけど。
- 市 だから、あれも1枚表裏やから、張ってくれたり、見てくれたりする。あそこに本当は合わせて啓発記事も入れたいんですけど、それはそれでまた書きたいことがいっぱい出てきて、やっぱり相乗効果といいますか、本当にごみのことは繰り返し。
- 利用者の会 もうちょっと年寄りでも読めるように簡潔に、パイプライン地域って書いてもうたら。
- 利用者の会 1ページに、パイプラインはこういうものなんですよと書いて。
- 市 実はパイプライン、ちょっと増やしているんです。
- 利用者の会 物すごく分厚なつとるんやわ。
- 市 全部を、全体が。
- 利用者の会 それだけ丁寧に読んで、やってもらったらと思うけど。
- 市 例のバッテリーが燃えたりとか、電池が燃えたりとか、あとガスボンベですね。これも含めて書いているので、どうしてもどんどん大きくなってしまってます。
- 利用者の会 いや、熱意はよく分かるんだけど、逆に読むほうからしたら。
- 市 そうですね。これがあって、ホームページもあるけど、「トピックストピックス」とか地域ごとの課題に応じて、ここからその分を取り出したような啓発の繰り返し。
- 利用者の会 そうそう、やってもうたら。今回の指定ごみ袋のパイプライン地域だけを取り上げて、こうですよと知らせてもうたら。それを利用者の会へ渡しといてもらったら、皆さんにそれで徹底ということになるんやけど。
- 利用者の会 今、私もいろんなものを調べているんですけども、1つの傾向は、どの自治体も絵を物すごく入れています。だから、読まなくても書けとか、そんな感じでぱっと分かるようにしているのが、1つの傾向です。
- もう一つは、若い人は読まないんで、携帯で全部できれば、捨てていいかどうか、それぞれの自治体でもやっておられます。僕が調べたのは200ぐらいの自治体が導入しています。
- これは、ちゃんとしたシステムの業者がありまして、その業者さんが恐らく売りに行くか何かしていて、中身だけはそれぞれの自治体に対応するようなものをしている。値段も、そんなに高くはないです。
- だから、1つの傾向としては、できるだけ文字じゃなくて絵で示す。2番目は、若者に関しては読まないだろうから、携帯とかそういうツールを利用して

やっていくような傾向が、今はあります。

ただ僕は、逆に僕の立場からすると厚いほうがいいです。今回、本当に詳しく、今までなかった点が。ホームページも、以前、私も関わったときは、当時で4分の1という制約だったんです。パイプラインは1ページの4分の1。何を入れようか。今回は1ページちゃんとありますので、ちゃんとしてきたなということ。

だから、その辺をどうするかは、審議会なり何かで1年に一回ぐらいレビューして、本当にこの情報でいいのかとかは必要かなとは思う。

利用者の会

そうそう。そのためにも、一遍アンケートみたいな取って見たらどうかと思います。その冊子。皆さん、見ていますか、活用されていますかと。今回指定袋だったら指定袋見えていますかと。

司会

ありがとうございます。

利用者の会

先日、ネットニュースを見ていたら、ある市で指定ごみ袋、スーパーに行ったらレジの横に指定袋を売っていて、買い物のときに買う。マイバッグを持っていった人は、それを買っている。だから、それを帰って、その袋をそのまま。

市

レジ袋として。

利用者の会

そうそう。だから、おしゃれな袋でしたわ。そういう手もあると違うかなと思う。

市

あれは検討されていましたね。

市

減量等検討推進審議会でかけさせていただいて。ただ、デザインは決まってしまうので、バーコードを添付することはできないですけど、お店のほうで、よくレジの横にあるバーコード読み取っていただいて、1枚何円ということは、やっていただけないかというような、市はしていますけど。

利用者の会

今、レジで、有料で買った場合、今度、指定袋でなければ捨てられないよ。再生利用ごみ、資源ごみに関する日はそれで出せるけれども、ふだんの燃えるごみ、燃えないごみの日には、レジ袋は利用できないことになるので。そういうところで、大いに指定袋を利用してもらえそうな手を打っていく。

市

そうですね。手提げ型のモデルとして作ったのも、そういう啓発、デザインが入っているのも、今おっしゃっていただいたように、おしゃれかどうかまであれですけど、やっぱり芦屋らしい物を選んでいただけたなと思っていますので、そこでコープさんとかも、この協議会の中にも入っていただいていますし、そういうモデルのお店ができていけば、それを市でも、ほかにもお知らせしていくことで、アイデアは、ありがとうございます。

利用者の会

調べてもらったら、どこの市がこういうことやっている。

- 市 私も、ニュースも見たことがあります。
- 利用者の会 普通の指定ごみ袋だったら、ごみ袋に買った物を入れるのは抵抗がある人もいるので、デザインがよければ、別にそれを、購入した物を入れていっても、特に問題ないということで、手を打っている市もあるということです。
- 司会 次の議題に移らせていただきたいと思います。議題3の各管理組合等ですべきことで、資料3をお願いいたします。
- 利用者の会 今、利用者で問題になっているのは2つありまして、マナー違反のごみを投棄するのが1つと、それから引っ掛かりとかの2つを問題にしています。
- 1つは、マナー違反の方策をどうするかで、利用者の会で4回ほどワークをしまして、ぺたぺたと張っていただいて、意見もいっぱい書いてもらいまして、それをまとめました。
- まとめるだけでは駄目で、それを実際にアクションをかけていかないといけないということで、アクションをかけるための提案書で、今回作成をしました。今回は、利用者の会だけであればいいですけど、市でもぜひ御理解いただいて、協力していただきたいということで、今回、こういうことを作りました。
- 1枚目、これはさっき林さんで御説明したのが、全部はまだ新しいのは入っていませんけども、過去、こういうものがそれぞれの投入口で捨てられていますよということで、これは、さっきの林さんのやつを追加したいなと、今考えております。
- こういうことが、まだ現在でもあります。特に緑町であったガスボンベを捨てて、火災になったという問題も起きとりますので、こういう現状がありますということで現状報告をした後で、どうしたらいいかということで、原因としては、何を投入していいか悪いのかの知識がない人がいる。それから、マナー違反の意識が低くて、ごみ投棄、捨ててもいいのかということで軽く考えている人がいる。それから、不法投棄のごみを持ち帰るのが面倒やと。また持って帰るのが大変だということで、誰も見てなかったらやってしまう。ごみ分別のルールを知らなくて、そのままごみと一緒に捨ててしまう。こういうことが原因として考えられるじゃないだろうかということで、それぞれに対して、具体的な施策として6つを考えました。
- 最初は、芦屋市とTMESさんと私たちが協力して、この問題をなくしていくという基本的なスタンスはそういうことです。大きく言えば、環境汚染とか地球温暖化に、重要性をみんなに気づいていただくのが、この2つが基本であって、3からは具体的な情報で、パイプラインに関する情報提供をしていきましょう。分別や捨て方についての情報を分かりやすくというのは、さっき言いました。絵でできるだけ表示する。それから、投棄のマナーの啓蒙活動。それから、実際に起こったときには、迅速な注意喚起。6番目は、これは私、考えなかったんですけども、AIでこんなのを考えたい、どうかという提案がありましたので、それを入れまして、警察のそういう提案が以前ありましたので、6番も検討しているところであります。

次が、具体的な活動の具体例です。もうちょっとダウンして、実際に活動できるようにするということです。まず、現状の問題が起きたときの体制案もできております。異物を発見して、現物展示、ポスター展示を環境施設課と一緒に作って、それを掲示する。

そのときに、できたら、後でいいですけども、補修費用も入れてほしい。このためにこれだけかかったんやということ。大したことがなければいいですけど、もし大きい問題であれば、利用者の会はメールで各自治体、組織に連絡して、ポスター内容を確認して、必要であればその棟の関係事務所へ全部全戸配布をする。各自治会管理組合は、組織内で連絡したり、掲示板に張ったり、回覧板に張ったりして、パイプラインの利用者がそれをお受けいただく。こんな連絡体制を、きちっと今でも取っていると思いますけど、これをもう一遍確認したい。

2番目、環境保全や地球温暖化方針に啓蒙活動を結びつけようということで、ホームページとか環境保全や地球温暖化の情報も提供していきましょう。それから、パイプラインの点検は今やっていることですけど、電力費用の削減で、今、2割ほど削減、TMESさんでされていますけれども、同時にCO2の削減もこれによって行うことができると、こういう啓蒙活動をやっていきます。

情報提供。必ず年次報告書を1年に1回、またはホームページでパイプラインの基本的な情報を集めてオープンにして出す。月1回の会議を開いています。来週23回になります。そこでこの協議会であったことを、ワーキングであったことを全て伝える。私たちと利用者が情報格差のないようにしたい。それから、そのパイプラインでいろんなことを話し合ったことを、まとめて回覧や掲示板に張って伝えるように、私たちのほうでそういうのを事前に作っています。それを、そのままコピーしていただければいいようにしております。

次の3の一番下、これは市にお願いというか。実は、どんな物が捨てられているのかというのが、実際に写真とかそういうもので見たら、パイプライン利用者の人は、こんな物を捨てているのかと分かります。ただ、パイプラインの物は前回調査されていませんで、されてないですけど、ほかのところでも中身は一緒やと思います。パイプラインだけが特殊なものではなく。だから、できたら前回調査の結果を写真つきで教えていただいて、円グラフでこうやと。

京都とか、それが実践されて。今、京都は水分の問題。ごみ、それから紙。この2つが一番近々課題であろうということでやっておられる。ちゃんと情報提供もホームページでされていますので、その辺を今回、できたらお願いしたいということになります。

4番目、分別法や捨て方の情報を分かりやすく提示する。ポスターとか注意書きはやるんですけども、分かりやすいということで、写真とか具体的な方法で上げてくださいますとか、そういうのを入れたらと思います。入れましょうということでやります。それから、現物展示はしていただいていますので、写真はできるだけぼろぼろの、その状態を分かるようなことです。

もう一つは、分別してくれて、ありがとうという言葉も入れたらどうかというアイデアが、今出ていますので、これはちょっと。これは駄目、あれは駄目というよりは、ナッジみたいな考え方で、ありがとうという言葉は有効ではないかという意見が出ましたので、これはポスターを作る必要があるかなと思います。

分別の啓蒙活動をやる。この中で、具体的な修理代が増えて、条例廃止の以前に廃止される可能性もある。そういうのを伝えてほしいとか、そういうことを今後ともやっていこう。

迅速な注意活動。これも粘り強くやるしかない。粘って粘って粘ってやるということ。

補修作業も、輸送管内に入って大変な作業をされていて、結構問題には関係ありますので、その辺の作業を分かるように。

最後の4つ、6の最後です。これは、利用者の会から出たんですけど、言葉かけをしよう。単に、こんなこと捨てたらいけませんよと言ったら問題になる。私も、一遍若い人と問題を起きました。そういう注意ではなくて、おはようとか言葉かけをするということによって、少し直していくんじゃないかということです。

環境省が発行しているごみの、100ページぐらいのものがあります。その中に、パイプラインではないですけど、やりましょうと書いてあったのは、やっぱり言葉かけです。そこで、みんなでいろんなことを話したりできる。

それを私、実感したのは、パイプラインが1か月間ぐらい中に水が入ってできないときに、僕もできるだけごみの現場に出ていて、皆さんが来るのをずっと8時半までやっていた。何が生まれるか、来た人が捨てて、コミュニケーションできます。ありがとうとか、分別どうのこうのとか。フライパン持ってきたおばあちゃんがいたので、フライパンは駄目よとか、そういうコミュニケーションが非常に大切だということで、利用者の会としても、そういう言葉かけをしましょう。具体的にどうするか、今後考えます。

7番目が、さっき言った不法投棄で、警察からダミーのカメラをいただくか。これ、私、モノタロウで調べたら二、三千円で本物そっくりなやつがありますので、その辺、市と相談しながら考えてもいいんじゃないかということで、こういうことをマナー違反防止策としてやっていこうということなんです。

ですから、こういう活動を今後ともチェックしてやっていこうということで、来週、最終的にこれを市に提案しました。それで、展開調査ぐらいですか、話が。その辺、どうですか。

市 写真がありますので、もちろんパイプライン地域じゃなくて、市街地のほうが。

利用者の会 あとは円グラフを。

市 円グラフは、全体というのがなかなか。こんなのが入っていましたよという写真は多分あります。今の指定袋の説明会でも、ちょっとセンセーショナルに、最初、できるだけ写真を載せているんですけども、炊飯器が入っていたり、



よくあるのは缶とか瓶とか黒い袋に入れて、燃えるごみの日に出しているのはございます。段ボール類、紙。

市 効果的でしたね、説明会の。

市 そういところの写真はあるけど、全体に対して何%というのは、ちょっと難しいのかなとは思っています。

利用者の会 環境省は出しているんです。

市 ただ、要するに全展開検査はしてないね。そのパッカー車の。

利用者の会 スポットでやった数なので。

市 そのパッカー車の中でのパーセントは出ていますけど。

利用者の会 そうそう、それでいいと思います。要するに啓発です。だから、100%正しい状態はなかなか難しいとちゃんと書いとけばいいので。今回例えば、半年に1回、こういうことをパッカー車何台でやりました。その結果はこういう状況。

利用者の会 あれ、何かで見たよ。

利用者の会 出してもらいました。

利用者の会 燃やすごみの中に何割、缶が何ぼ、これが何ぼ、これが何ぼ、たしか芦屋でそういうのを見たことよくあるよね。

市 今、週2で展開検査していますので。

利用者の会 ほな、割とやっているねんね、それを生かしてほしいね。

市 そうですね。

利用者の会 やっぱり住民に知らさんと。せっかく、それだけ3K作業をやっているから、やっぱり知らせてほしい。じゃないと意味ないと。悪いけど、そんなやっている人に悪いけど。それをちょっと生かしてほしい。その中に、ガスボンベなんかも入っているん違うの、まだ。

市 ガスボンベも入っていますね。

利用者の会 そうだろう、もちろん。

市 ガスボンベは、燃えるごみというよりは、どっちかと言うと不燃のほうに。ひどいときはカセットコンロに刺した状態でというのも、入ったまま刺した状態でというのがあります。

利用者の会 その辺は住民に知らさんと、せっかくやっているから。それ、知らせてほしいね、やっぱり。

利用者の会 あとは、非常に細かい話ですけど、今、問題になっているリチウムイオン電池。おもちゃごと入っているのも、今、大きな問題になって。パッカー車が燃

えるのもあるんですけど、焼却炉が燃えるのがあるんです。

利用者の会

あるよ、焼却所が燃える。ラインの中でも火災が起こって、それで焼却炉まで来て、日本中で起こっている。

利用者の会

この1年で、宇都宮市、さいたま市、豊田市、千葉のどこだった、これぐらいが、結構大きな被害が出ています。どうも原因は、リチウムイオン電池もしくはスプレー缶、ガスボンベじゃないかか書いています。豊田は半年ぐらいかな。

利用者の会

大変やろうと思います。

利用者の会

でも、そういうのもリチウム電池の火災があったのかどうか。愛知県。

市

日本各地で、今。

利用者の会

豊田市は、結構派手に燃えたので。外からでも煙が出るぐらい燃えて、半年以上。

利用者の会

よう燃えて覚えているけどね。

利用者の会

豊田は、多分破碎機が入っていると思う、ごみ破碎機が。だから、それでいったと思うんですけど、宇都宮市はよく分からない。さいたま市も、何か同じようなことらしい。

そういう事例が多いわけですから、展開検査のやつと、要するに危険廃棄物、有害廃棄物、これは徹底的に大きくして知らしめるべきだと思います。

利用者の会

そう、知らせるべき。

利用者の会

知らない人が多いので。

利用者の会

知らない人が多いですよ、絶対知らん人おる。

利用者の会

この一、二年めっちゃくちゃ増えていますよ、今。

市

最近、何でもリチウムイオン電池、忘れて入っちゃっているの。電動歯ブラシとか、なかなか皆さん、意識されてない人が多い。

利用者の会

あくまで意識してないのが一番怖いですよ。

利用者の会

知らさんとあかん。

利用者の会

それをどこへ持っていったらいいのかも。要するに、分けて持ってきてくださいとか、そういうのを集める人から。

利用者の会

そやからこそ、さっきの冊子。特に重要なところは赤色にする。

市

それ、載せますよ。

利用者の会

他市、こんなところでも火災が発生した。

市 　　というような危険情報を載せていくと分厚くなっていく。

市 　　また、分厚くなる。

市 　　申し訳ございません。

利用者の会 　　いや、リチウムを分別するって書いている。そこを赤く書くとか。ぱっと見たときに、赤くなっていたら何やろうと思って注意を引く、注意喚起するように。

市 　　それ以外に水銀とか鉛も載せたけど、そうなると分厚くなってしまって。

利用者の会 　　そやから、工夫をして。

利用者の会 　　全体的に知らしめるという形ね。

市 　　そのときは、またチラシ配布、ホームページ等で啓発をかけていきたいなと思いますし。

利用者の会 　　今でも水銀が入ったら、また、異常起きるのでないか？あれ、すごい量やで、あの水銀。

市 　　一応対策としまして。

利用者の会 　　やっているけど。

利用者の会 　　毎日測ってやっているの、大丈夫だと思うんですけど。連続計ですけど、水銀は連続計ですよ。ですから、ちゃんとそういうのは測って。

市 　　フィードバック、フィード。

利用者の会 　　活性炭を入れて、吸収しているのでいいと思いますけど。

利用者の会 　　アクション追っつけへんのと違うの。

市 　　フィードフォワードもフィードバックにかけているので、基本的には大丈夫。よほどの、水銀血圧計とか入らん限りは。

利用者の会 　　今言っているのは、水銀血圧計のこと言っているけど。前にあった。

市 　　前は血圧計じゃないです。

利用者の会 　　ああ、体温計か。

利用者の会 　　うん。ストーカー炉なんか、1時間、2時間後に滞留しているやつが多いから、そんなにピットは出て。

利用者の会 　　ああ、そうか。それやったらいいけど。

利用者の会 　　ただ、スマホとかでごみの分別のやつとか、よそでやっていますよね。芦屋はまだですか。2年ぐらい前に、あれしたらと言ったんだけど。スマホで、このごみになったら、こうしてくださいと。

- 市 今でもチャット、何かやろうと。
- 市 チャットには載せていますけど、あとごみアプリをやろうとしていて。
- 市 ごみアプリやると、どうなっちゃうの。
- 利用者の会 あれは、若い人は、私、出張しているところで、飲み屋でちょっと話していたら、若い人とか主婦、若い主婦がその話にすぐ乗ってきて、私も見ていますとか言うんですね。だから、結構あれ、有効ですよ。
- そのときも、最初にこういう物を入れちゃ駄目と先にばんと出るようにしといてから調べてくださいとすると、物すごくインパクトがあつて。だから、今、3万人ぐらいの市でもやっているんです、それを。ですから、芦屋市でも。
- 市 ちょっと隣の係ですけど、やろうとしているのを聞いています。
- 利用者の会 そこは、10万都市がやったので、即まねしたんです。ところが、町レベルではまだしてないんだけど、早くしてくださいって話は、今、しているところですけど。そういうのが、西宮、神戸でありますから、それをまねしているときに、一番重要な危険廃棄物、有害廃棄物の注意をぱつと最初に入れたら、次のページに行けるみたいな装置。
- 利用者の会 CO<sub>2</sub>ね、芦屋市は今、目標に対してどんな状況。
- 市 芦屋市。
- 利用者の会 芦屋市。市で取り組んでいるやん。それに対して、今どういう状況にある。
- 市 それ、環境課です。
- 利用者の会 いやいや、CO<sub>2</sub>いうたら皆にかかってくるで。全員でやらんと達成できへん。
- 市 今、正確な値が。
- 利用者の会 どこの担当かとか言うてたらあかん。環境施設課やったら、それぐらいのことよく知った上で日常のあれせないかんやん。大事やで、これ、ほんまにCO<sub>2</sub>って。人ごとのように。
- 利用者の会 全体として、こういう状態の中の廃棄物絡み、ここの環境絡みがどうなっていますか。それがどういう傾向、減少の傾向にあるのか、横ばいなのか、そういった情報は必要だと思うんですよ。
- 利用者の会 もちろん。自分らで取り組んでいるやつ、今年度は何ぼって目標決めてやって、今どういう状況である、もうちょっとやらないかんとかやらんと。それから、芦屋市の環境の、やっているやんか、ISO14000やったかな。
- 市 全部連動する話ですので、確かに指定ごみ袋もしかり、今回のこのようなお話、一緒に協議いただいているようなところも、山口委員長からもいた

だいたように大きな、広義の目的は地球温暖化対策にもつながることですので、今、本当に環境に関連する幾つかの部署がそれぞれのところで今の時代を受けて、ピンポイントで課題を動かしているところですけど、それが単独にならんように、やっぱり連携してやっていけるようにというのは。

- 利用者の会  
市  
利用者の会  
市  
利用者の会  
市  
市  
利用者の会  
市  
利用者の会  
市  
利用者の会  
市  
利用者の会
- もちろん中心でやっているところは、環境の一番やっている部署だと。
- そうですね。環境計画があって、ゼロカーボンシティがありますので。
- 各部署から、これだけのフォローアップで、今、これだけやろうか、ほんなら20%減やろうと決めたら、それぞれの部署がそれに対して目標を決めて、その達成に向けていろいろやって、定期的に報告したりとか、そんなのやけども。
- 言うてることは、もちろんごもつとも。
- 言いたかったのは、一遍芦屋市のCO<sub>2</sub>についても、現状というか目標を決めておると思うんだけど、それに対して昨年度はどうでしたとか、そういうのをまた言うてほしいと思います。
- でも、それはちょっとこの趣旨とは違うので。
- 市として進める。
- 違う、違う、市としての、いや。
- 今、知っていると思いますけど、環境率先計画がございます、芦屋市に。環境課が作っています。あの中に、春木さんがずっと問題や問題やと言っているように、うちは入ってないです。
- そうや、問題や。
- そういう形で、環境率先計画は環境率先計画であって、うちはうちでCO<sub>2</sub>の削減という形で、今、パイプラインでもTMESが提案していただいたとか、焼却炉でもいろいろな削減方法を考えてやっています。新しい施設についても、発電をしたりとか、CO<sub>2</sub>の発生ないようにとか、プラの分別をどうするねんという話は、一生懸命、今、CO<sub>2</sub>を軸にして考えていますので。それはまた別で考えて、やってもらわないと。
- いやいや、別じゃない。焼却炉から、煙突から排出しているCO<sub>2</sub>が一番多いんです。
- 大きいですね、そうです。
- 一番多いんや。それを減らそう思ったら、ごみの分別だとか減量だとかパイプラインでもそうだけど、やっていかないかんわけやんか。ほんなら、やっぱりそういうことを言うてほしいわけや。煙突からCO<sub>2</sub>がこれだけ出て、まだこれだけ出てるんやで。目標達成してないやん。だから皆、頑張ってくれや。ほん、パイプラインでも同じやんか。やっぱりごみの分別してや、そういうの減ら



い。

荒木係長

また、CO<sub>2</sub>の話は今、建替えに関しての基本計画でアンケートもしていますので、また情報展開できるものは展開していきますし、ホームページにも載せていっていますので、報告させていただきたいと思います。プラ分別に関する、先ほどおっしゃったやつも数値は出ていますので。

利用者の会

みんなに厳しく。

司会

続いて、次の議題に移らせていただきたいと思います。

市

議題4の代替収集の進捗報告について、以前からワーキンググループでロードマップの更新もかけないといけないという形で打ち合わせさせていただいて、昨日もお話しさせていただいたと思います。昨日、打合せさせていただいた内容等を踏まえまして、Vol.2という形で一定の更新をかけたいなと思っています。

3ページにあります、ストーリーのシナリオのマッピングでフェーズの件がありまして、災害対策フェーズをリスク管理という形に文言を変えさせていただいたり等をしております。

1点だけ伝えておく必要があるところがありまして、災害対策フェーズをリスク管理と文言を変更したことによって、7ページ、検討項目とかを書き出している表一覧のNo.6を、私が修正漏れをしておりまして、修正前は災害対策フェーズという文言になっていたんですが、リスク管理と文言の統一をさせていただいています。

そういったところで、もしかしたらほかのところにも前の文字が残っていたりすることもあるかと思いますが、令和5年度、またワーキンググループ等で課題の見直し等もしていったって、新たに追記、修正、消したものについても復活で進捗等を管理しながら代替収集の移行に進めていきたいなと思っていますので、ひとまず令和4年度としてのロードマップの更新としては、この形式で進めさせていただきたいと思います。

また、来月からワーキンググループで、課題、リスク等ございましたら上げていただいて、また、対策内容等も一緒に検討していきたいなと思います。早期に打たないといけない課題等もございますので、御協力をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

利用者の会

2030年には令和でいつかな。

市

2ページに書き換えさせていただいてるんですけど、2030年は令和で言うと12年になります。

利用者の会

令和12年いうたら、ホップステップジャンプだったら、ステップの段階に入っただと思うんです。そやから、3年前になる、切替えから。切替え開始から見て、3年前までにこれで動いていく。

市

令和15年から切替え。

利用者の会 市 利用者の方から、令和15年からですね。そやから、令和15年の3年前に。

市 3年前に一応。

利用者の方から、そうですね。

市 合意形成して、ここやって。これ、また審議会とか議会は。説明はします。

利用者の方から、しないといかんですね。そやから、それだけの余裕を見ないかんし、予算の都合があるしな。

司会 よろしいでしょうか。では、ロードマップは今後もまだまだ更新をさせていただきますので、よろしく願いいたします。続きまして、議題5、協議会の検討内容をどうすれば広報できるのか。資料5でお願いいたします。こちら、山口さんから資料で。

利用者の方から、皆さん、読んでいるかどうか知りませんが、私たちの協議会の議事録が市のホームページに今載っております。

私のほうは、市から来た議事録をチェックして、修正とかそういうことをやってお願いをしていますけど、どんな意味があるんやろうなど。その作業を実質3日間か4日間かかっている、僕でも、市も大変だと思います。

それを、どうやったら皆さんに読んでいただけるのかを昔から考えていたんですけど、やっとチャットGPTができて、要約をしてくれる。私が要約したら時間もかかりますし、山口の主観がどうしても入ってしまう。ですから、主観が入らないで何とかできないだろうかと考えましたら、やっとチャットGPTが要約をしてくれるようになりました。

ただし、1回で要約できる分量がありまして、2ページ半です。今回、ここに2枚要約があるんですが、枚数が多いほうが、第1回目の2ページずつ25ページだったかな、今回。ずっと分けるんです。それを一個一個要約してくれて上げて、要約したやつを、そしてやったのが3ページぐらいになったんです。この3ページも、ちょっと多いなと思ひまして、要約したやつをまた要約したやつが、この1ページの。

実際、ある自治体、横須賀です。横須賀は自分たちの議事録、要約はチャットGPTを使うのが決まりました。だんだん、そういう形になるんだと思います。ただし、この要約を市のホームページに載せるかどうかは、ちょっと考えないと。

最悪、利用者の会のホームページに、こんなことを話しましたよというものを、議事録ではなくて要約版としてチャットGPTに1枚で載せたいなと今考えております。時間は4時間かかります、残念ながら。これ、実際に4時間かかりました。2日間ぐらいかかるんですが。そういう形で、今回、41回目が恐らく私に来ると思いますので、それを修正して、市がホームページに上げら



れたら、それを私のほうで、チャットGPTで要約して。

2つは作ります、どっちにしても。要約の要約じゃなくて、要約したやつと要約の要約版。まずは利用者の会から載せていって、市には当然同じものを送りますということで、何回かそれを見ながら、その後どうするのか、市で採用されるのかしないのか、利用者の会でやっていくのかをやっていって。また、皆さんの意見を聞きながら、役に立つのか、そんなもの要らんよと言われるのか分かりませんが、ちょっとやっついこうかなと思っています。

今、国も、ほかの都市でも、チャットGPTをうまく使って、自分たちの業務の合理化をしていくかを、今いろいろ考えておられます。政府も専門家チームをこれからつくりますので、私たちも、できたら皆さん、本当に大変なので、やっついこうかなと思っています。

もう一つ、皆さん方は御存じないと思うんですけど、チャットGPTの会社はWhisperというソフトを作っています。Whisperって何かといいましたら、mp3のこの録音したのを自動的に全部文字起こししてくれるんです。ですから、録音さえすれば、今払っている3万円は、要はかからんようになる。

そのWhisperというのは、今、私のパソコンに入れたんです。2つありまして、自分のパソコンにも入れられるし、ネット上でもやれる。ネット上でやると時間の制限が1回に20分なんですよね。だから、20分の録音を全部文字起こししてくれる。私のPCに欲張って、利用者の会の1時間半ぐらいのやつを入れたら、2日間たってもうんともすんとも、私のパソコンでは性能が悪くてできなかったんですけども。だんだん、そういうふうには議事録もコンピューターが作ってくれるようになって。出てくるので、それを修正していくんですけども。そういう作業なので、時代がまた変わってきたかなと、今、つくづく思っています。市のほうも、恐らくそういう時代が来ると思います。だから、そのときにはお金の削減も手間もかからなくなりますので、ぜひともそのことを考えて。私のほうは率先してやっていますので、そんな絵に描いた餅みたいな、うまくいくとは絶対思っていないです。ですので、非常に。

何が、それがいいかといったら、英語のプレゼンテーションとか、世界中の言語どれでもいいですけど、世界中でやっているんです。例えばある大学のある講座は、全部ユーチューブとかで見られるんです。大学のホームページ。それを全部日本語に翻訳してくれるんです。字幕まで作ってくれるんです、全部日本語で。だから、今まで僕らが英語かと思っていたものが、全部できるようになる。だから、言語の壁は、これからあと1年か2年したらなくなると思う。

ですから、今そんな時代に来ていて、私はうれしいです。今まで英語でうっとなったのが、全部日本語で字幕にしてくれる。そういう時代が今。だから、AIは単なるチャットGPTじゃなくて、いろんな分野で出てくるということで、私も議事録がどれだけできるかテストしております。

まず、よろしいですか、要約のほうはそういうことで。また結果とか、利用者の皆さんでどうですかと聞いてみます。以上でございます。

利用者の会                    そうですね。ただ、みんな読んでないんやけど、ちょっと「ええ？」と思うようなやつがありますね。

利用者の会                    「え？」と思うようなやつ、絶対出てきます。

利用者の会                    何かおかしいなと。例えば、パイプラインの運転報告の4つ目かな。「利用者からのバケット下のごみ詰まりは、鍵の不良や袋にいっぱい詰め込むことが主な原因」と書かれています。バケット下のごみ詰まりは、カギの不良が原因かな。

利用者の会                    これは、恐らくミーティングの議論の中で、カギの問題とごみ詰まりと、いろんな話をごちゃごちゃしていると思うんです。だから、まとめたときにカギの問題と、2つあるんです。それを一緒に。

利用者の会                    一緒に書いているんですね。何かおかしいなと思うんです。

利用者の会                    だから、これはやっぱり私なりがちゃんと読んで、修正する必要がある。

利用者の会                    その下も、「利用者は袋に小さめの袋を使用していたり、軽い物ははさみで切ってから入れることを推奨」。これはいいですよ、はさみで切つては。軽い物は、軽くて、要するにかさばるやつを切つて入れる、その辺を。

利用者の会                    そうです。文言の修正が必要になります。

利用者の会                    ちょっと強く言いたい、かさばるやつ。あれは切つてやったら小さくなる。容積。それだったら赤ランプの回数も減るし、省エネにもなるし、さっきのCO<sub>2</sub>にも大きく影響するし。これは、私はものすごく大事だと思うんです。そやから、ぎゅうぎゅうと押し込んで入れて、容積を小さくして入れる。これは物すごく大事。

利用者の会                    しばらくの間、できた後、チェックせんとどうしようもないわね。

利用者の会                    いや、分かって、と思うんです。

利用者の会                    それはテレビなんかでも言っていました。

利用者の会                    チェックせないかん。

利用者の会                    これ、何でそのまま出したかという、今はこのレベルだからです。僕が修正すると、それで終わってしまう。こんなレベルって、今出てきますよね。

利用者の会                    こうですよって、AIにまた教えないかん。教え込んでいって、それでだんだんまたレベルアップしていく。

利用者の会                    担当者が作ったものを、課長さんが修正しますよ。

利用者の会                    「レベル計が遮断されるとバケットが開かなくなることがある」となってるけど、本来だったらレベル計が遮断されると、バケットは開かない。なることがあるやなしに、確実に開かなくなりますよ。また、これも大変時間かかる。大

変、こいつがまたね。よう作りますね、こういう。

利用者の会

これはAIがただけですから。

利用者の会

いやいや、これまでのこのやつ。大変やで、これだけやるのは。

利用者の会

おっしゃるように、全てAIに任せるんじゃないで、課長さんにしてください。

利用者の会

市役所の住民対応が大変ですよ、これから。機械でぱっと出てきたやつをそのままぱっとやると、住民とこうなってしまうわね。

市

そうですね。今、確かに山口さんがまとめていただいて、今、すごい時間かかっているんです。例えば、うちこの協議会だけじゃなくて、廃棄物減量等推進審議会もあるし、運営協議会もあるし、あと建替えの委員会もございます。そういうのを全部、文字起こしは業者には委託しているんですが、その後のチェックが一番大変なんです。

利用者の会

大変やわ。

市

こういう形で、ある程度まででも完成度上げてもらえると、チェックだけで済むと物すごい。それがほんまややこしい。これが合っている、これがまた人によって考え方が違うから。ここだったらある程度、我々と山口さんのチェックで上げていきますけども、全員のコンセンサス取らなあかん会議もあるんです。その人によっては、これは、実際言っているんだけど、言うてへんとか。こういう意図じゃないとか、そういうことをおっしゃる方がいらっしゃるので、その辺の対応だけで、ほんまに何か月かかかるときがあるんです。

だから、こういうのがあればAIのせいにできるので。AIがこう言うとのことで、ありがたいですね。

利用者の会

利用者の会が発行する年次報告書についても、本来だったら中長期の経営計画に対して、その目標に対して取り組んだ結果、今年度はこうでした。中でも、維持費とか廃棄物全部やった。トラブルゼロとか目標に対して、どうでした。環境、CO<sub>2</sub>10%削減、それに対してどうでした。そういう結果が期待されているとか、そういうことが中心になるんやけど。それは、最初だから仕方ないけど。すごいですね、こうやって。

利用者の会

これに気がついたのは、個人の意見は一切出てきません。

利用者の会

チャットの意見やな。

利用者の会

そう。まとめるときに、個人の意見は入れるかどうか、物すごく悩むんです。けど、AIはすぱっと外していますので。

利用者の会

ぱっといく。もうすぐに出るんですね。

司会

では、議題6、2020年令和4年度の活動の振り返りを御確認いただけますか。

利用者の会

これもチャット？

利用者の会

チェックはチャットしてもらいます。

では、資料6の2022年度の活動の振り返り、利用者の会の活動の振り返りです。

去年の4月の協議会で、利用者の会の目標はこうですよと御説明しました。その後、市でもこうですよと説明がありました。1年間たちまして、それがどうなったのか。そういうことはきちっと振り返りをしないといけないということで、振り返りを作った。振り返りを基に、次の年どうするのかということが、その裏のページになります。

まず、4つの目標を掲げまして、パイプラインを利用者起因による「ZERO」にすることに関してましては、TMESさんの頑張りど利用者の頑張りど、今年も「ZERO」で、これは本当によかったなと思っております。

2番目、情報の共有化。これは、基本的に私たちだけが知っとけばいいという問題ではなくて、やはりパイプラインを使う。理想的で言えば、一人一人の方が同じような情報を持って利用ができることをしたいなと思います。どちらかというと、知らないと議論のしようがないです。だから、ある程度のことを知っていただくということで情報の共有化。

では、どうするのかということで、月報を作成して、毎月、これを各自治会、管理組合で掲示したり、回覧したりするのが1つ。2番目に、引継ぎはなかなか難しいです。この会は、引継ぎはまだ少ないと思いますけど、毎年変わるんです、メンバーが。またゼロに戻って、またゼロに戻るとということで、引継書を去年作ったんです。その引継書を作って、必ず引継ぎの方に渡す。また、新しいバージョンを作って渡すことで配布をしました。

恐れ入りますけど、写真を、その中にこういう話合いをしていますということで。

市

皆さん、顔も。

利用者の会

マスクは。

市

いや、そのままでもいいです。やっている雰囲気だけ。こっち見ないで、やっている雰囲気だけにしといてください。

利用者の会

3番目、代替案の検討で、芦屋浜地区は全ての投入口を対象に現地調査を行いまして、現状を正確に把握する。これも頭の中で考えるのと、実際に行ってすると全然違いますので、僕自身もどこの投入口がどうなっていると現場でイメージができますので、話もしやすいかなと思います。

その現状を、1つのアイデアとして現地調査で分かったことという形でまとめて、こういうことになりますよねという話をしました。これ、代替案。これはロードマップに沿って、そのとおりに行っております。

ごみの減量化、最終的にはパイプラインも、やはりごみの減量化が一番の問題やと思います。ごみが、極端に言うとゼロであれば、別にパイプライン

も要らんし、燃やすという仕事も出ないわけですから、何とかごみの減量化を推進しないといけないなというのをそろそろやっていこうということで、まず利用者の会の最初に、ビデオを見せております。徳島県の45分類、それから鹿児島県のリサイクル80%。ちょっとビデオをそれぞれ見ていただいて、ごみの減量化をしないといけないよというマインドを醸成していくからスタートしております。

それから、実際に水切りをどうするのか、ペットボトルを切って、実際実演したりしています。必ず利用者の会の最初にはちょっとお時間いただいて、それを見まして、最終的にはごみの減量化をしていく、今、啓蒙活動をスタートしておるところです。

5番目がありまして、パイプラインの代替収集の移行期間までの維持活動プランが出ていますので、これに対してどうなのかということ、これもきちっと振り返りをせないかんということで、1から5番目まで振り返りをしております。

10年間、ホップステップジャンプのホップでは、今、3年目ですかね。

利用者の会

令和元年からスタートやね。そやから、今年5年目になるか。

利用者の会

5年目。

利用者の会

令和元年から始まった。

利用者の会

大体その中のプランでは、平均2.6億、10年間で26億というプランを立てていまして、昨年度は1.4億。今年はぐっと上がるでしょうけども、それで推移している。ただ、考えないといけない中央制御装置の更新が、恐らくお金がかかる。今のところプランでは2,000万ですけど、するかどうか分かりませんので、そこも考えないといけないよと。

コストダウンに関しては、2,000万を目標にしていますので、大体の形で進んでいます。ただ、CO2の削減に関しては8.3%で、目標は10%ですけど、ほぼほぼ近い。

それから、代替案に向けて調査は、投入口別の現地調査とごみ量の把握が終了しております。年次報告書において、市議には芦屋市が作成したものを、利用者の会には利用者の会が作成したものを全住民に配布することで、透明性を担保しています。

透明性を担保しているという言葉は、AIはこういうふう書きなさいと来ましたので、いい言葉やということで入れております。

この振り返りを基に、後ろのページに今年どうするかということで、まず利用者起因によるパイプライン停止「ZERO」、何とか「ZERO」を継続したいなということで、いろんな啓蒙活動をしております。特に、今回はごみの引っかけりも追加して、ごみ「ZERO」プラス引っかけり「ZERO」を目指して頑張ろうと思います。

情報の共有化は、同じような共有化をしていきたい。ここに、協議会のまとめは1つ入ってくると思います。代替案の検討に関しましては、ステップを

踏んで、南芦屋浜地区がまだ残っていますので、これの現地調査と、ロードマップに沿って、例えば他地域の情報とか、その辺を追加しながら集めていこうということです。

たしか、今回で情報収集は終わりです。ごみの減量化は、引き続いて啓蒙活動をしなが、利用者のマインドセット。要するに一番大切なのは、習慣を変えることです。習慣を変えるためには、マインドを変えないかん。そこが一番大切なので。

ビデオで見た2つの都市、やっぱりマインドを変えています。おじいちゃん、おばあちゃんのインタビューを見ましたけども、最初、大変かと思ったけど、慣れたらこれが自分たちの生活の1つなので、別にたいしたことはない。45の分類があっても、別にたいしたことはないという話だったので、そこにどうやってくるのかという習慣を変えるということを、長い時間かかるかと思えますけど、継続的な取組みが必要だということで、こういうことを含めて、最終的には地球温暖化とか環境問題に関して、何か貢献できるのではないかと、そこを今考えている。これが私たちの活動の今年の目標にしております。以上でございます。

市

市も、令和4年度の振り返りで、資料6をお願いします。

1番目、山口さんからありましたように、代替収集の検討で、各投入口のごみ量調査。これを山口さん中心にまとめていただいて、かなり有用なデータになったのではないかなと思っています。

それに加えて、収集事業課に1度かな、ワーキンググループに参加してもらって、実際、今、収集作業員を募集してもなかなか来てくれへんこととか、高齢化が進んできている。確かにああいう形でパッカー車にドッキングして、ガシャット入れるようなやつ、ごみを実際触れることもないし、高齢の方でも、若者じゃなくてもできるのは魅力的だなという話も、御意見もいただきました。

令和15年から切替えに向けて、今はいろんなデータを整理して、何がええのかを模索する段階ではありますけども、令和4年度に関しましては、かなり進捗として大きなものがあつたのではないかなと思っております。

先ほどもありましたように、ロードマップの更新です。これも今、文言とか内容について更新していて、これも毎年更新は続けて、どんどん精度を上げていきたいなと思っています。

同じように、今回、TMESさんから提案があつたみたいに、プロワの運転の運転時間の変更であるとか、あと運転方法の変更とコンベアの運転時間の変更。こういうことで、先ほど春木さんがおっしゃったようにCO2の削減につながるものであれば、利便性とのバランスは考えながら、これからも検討していきたいなと思っています。

2番目、臨時の車収集の回収検討。これも、検討はワーキンググループで行いました。まだ結論は出ていませんが、これが特に今、議会でよく言われている内容です。コストがかかっているのと、臨時のとき、困っているとき、

既成市街地は2回やのに、何で6回も行っているのやという話はよく聞かれます。

ただ、今、パイプラインというシステムの代替収集方法という形で臨時のごみ収集をしているので、週6回という形でやっていますという返事はしていますけども、それは、特に納得はしていないみたいなので、この回数についても検討していきたいと思っています。これも先ほどと一緒に、利便性とのバランスになります。

ごみ量自身は、週6回だろうが週3だろうが変わらない。だから、契約の仕方によっても、正直、ごみ量が増えて、何回もピストンで、何台も出さなあかんとなったら、結局一緒にはなるんですが、ただその辺も、今委託している業者とのヒアリングも行いながら、回数については検討していきたいなと思っています。

一番いいのは、まず臨時ごみ収集が起こらないこと。これが一番の目的になります。そしたら、別に突っ込まれることもないので。それを目指してやっていきたいなと思っています。

次、3番目に輸送管の穴あき補修工事です。令和3年度、緑地域センターの横、不明管が出てきて、頓挫して、繰越しになりました。それが今回終わりましたので、あと浜風小学校の穴開いているところをモルタル詰めをやって、一番弱かったラインですか、浜風から新浜につながるころ、そこがかなり改善されたのではないかなと思っています。最近、ほとんど止まっています。

だから、いつも真っ先にあそこが止まって、三浦さんには御迷惑おかけしているんですけども。あそこが、今回の令和4年度の工事でかなり改善したのが、大きなところではないかなと思っています。

浜風小学校のグラウンドの下のところも終わりましたので、雨の季節にどうなるかですけども、大分期待をしております。

利用者の会

結局4年ぐらいかかったよね、あれ。

市

そうですね。ほんまに長かったですけど。

利用者の会

車が通るようなところもきれいになりました。

市

そうですね。

利用者の会

植栽が。

市

あそこが、穴が開くことで上流側ですか、メロディハイムであるとか、新浜町とかあの辺も全部止まっちゃいますので、今度の梅雨でも大丈夫ではないかなと。

利用者の会

本当、何かあったときは、しょっちゅうだったもんね。

市

はい。

こういう形で、令和4年度はコロナ禍であったにもかかわらず、協議会とし

ては5回、ワーキンググループは9回開催させていただきました。ありがとうございました。

今後ともこういう会議の都度、これから会議の頻度は、また検討せなあかんとは思っていますけど、取りあえずこういう形で利用者の方と密に話をし、いろんなことを決めていって進めていきたいなと思っていますので、これからもよろしくお願いします。

次、令和5年度の目標。令和4年度とあまり変わりはないですが、先ほど言ったみたいに代替収集方法、ロードマップにおきましてはフェーズ2という形で、情報収集・分析・整理となっています。去年度まとめたこのデータをもとに、いろんな意見を聞きながら、もっともっと精度を上げていきたいなと思っています。

特に代替収集方法は、今、ドッキングするようなやつが1つ出ましたので、これについてもうちょっと掘り下げて、検討していきたいなと思っています。

臨時の車収集の収集回数についても、何回にするかという話について、ワーキンググループを中心に話していきたいと思っています。

輸送管の穴あき工事に関して、今回、去年度で内貼工事をTMESさんにやってもらって、その掘削したりする土木工事を別で土木業者さんに頼むという形が確立されました。普通の穴あき工事、今までどおりの穴あき工事は、今まで取ってない新しい業者さんが取ってくれた。だからこれから、いつもみたいに入札不調、入札不調となって、工事をやりたいけどできませんということが続くのが、ちょっと回避されたのかなと思っています。

今年に関して、特に早く発注して、逆に入札不調を見越して早く発注して、3月、4月が大変ですけど、そういう形で少しでも早く工事をしていきたいなと思っています。市としては以上の形になります。

TMES

TMESの令和5年度の活動の目標としまして、2つ挙げさせていただきました。

1つ目が、不具合発生時における迅速な対応。それから、その延長線上にありますけども、安定稼働の継続で挙げさせていただきました。

パイプライン施設の設備の不具合は、昨年度もそうですけど、点検等で予防保全を実施してまいりました。それでも、ときどき電子部品の不具合とか、12月にプロワの共通盤が直近でありました。発生した際、そういったときに事後対応でも、とにかく迅速に対応して、当日中に復旧、あるいは遅くとも翌日と努めてまいりたいと思います。

また、投入口の点検等で発見された、投入していけない物も発見次第、迅速に市へ報告、あるいは啓発チラシの作成等で輸送管の閉塞を未然に防ぎたいと思います。

また、利用者の会と芦屋市様と構築したこれまでの体制を維持してまいりたいと考えています。

2つ目、CO2排出量の削減と利便性の両立を目指した運転提案の





TMES お預かりしたものは我々。

市 内貼り自身は包括に入ってなくて。

利用者の会 入ってなくて、購入するのは違う。

市 市がある程度予想して発注して、持っています。

利用者の会 何セットというのは、もう決めといて。減ってきたら、それに対して補充していく。

市 はい。

利用者の会 それは市のほうでやっている。

市 市が予算としてやっています。

利用者の会 ほな、別に予備品としては、今のところ特に問題ないということですかね。

TMES はい。

利用者の会 それやったらいいです。今後とも、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、電気料金やね。これが、どうしても私は気になるんですけど。委託、こんなことここで言うていいかどうか分からないけど、疑問に思っっても仕方ないので。今はJFEエンジが電気料金を払っています。委託するとき、何ぼやというので公募で受けて、やって。費用のときには、当然、電気料金利用費をJFエンジとTMSEさんで受け持つていうことやね。

そのとき決めた、出てきた資料の中に、当然、これまでの費用が何ぼや何ぼやから、今回これで受けますよとか、そういう資料が出ていたと思うやけど。その中に当然、電気料金も一部入るとるわね。こんな、こんなって。それについては、今は市が払うんじゃなしに、JFEエンジが払ってるわけね、JFEエンジが一括して。

今回、TMESさんがやってもらっているこの改善、これによる経済効果は誰が受ける。

市 経済効果は、ある意味、市も受けます。今の電力の高騰で、電気料金もガスもある程度精算をしていますので、減ることで、逆に範囲内に入ったら市も増やすのを少なくて済むのがあります。基本的には包括委託業者さんが受ける。

利用者の会 そうやね。今、この電気料金、TMESさんのあれで、例えば1割、2割減ったとしたら、それはJFEエンジのもうけになるんじゃないの。

市 そこは、ちょっと業者間の話なので。

利用者の会 そやから、TMESさんに頑張っても。

市 でも、TMESさんとJFEも、基本的には電力量で支払いのあれをしてい

るので、電力量が下がれば。

利用者の会 ほな、その比率で、従来だったら比率でもって仕分けしていること。

市 その比率はうちが聞けないところになります。

利用者の会 今回、これでTMESさんがいろいろやってもらって電気料金が下がったら、それがTMESさんのあれに入るのかな。

TMES そうですね。

利用者の会 それでいいんやね。

TMES ええ。

利用者の会 TMESさんを含めてここで頑張っていて、せっかくコスト削減できたのに、その効果がJFEエンジに行ってしまうたら、ちょっと我々、おかしい。それが今これ見とって気になって。それは、TMESさんの一応利益になってくるということやね。

TMES はい。

利用者の会 それやったらいいんです。JFEに行ってしまうたら、何をするか分からへんから。一生懸命一緒に頑張っていますから。

昨日、途中で退席して申し訳なかったんですけど、山口さんの活動の振り返りの中の5番の維持活動プラン。費用を書いているんですけど、①一応10年間26億、年間目標2億6,000万に対して、昨年度1.4億円で維持できました。実際には、これまでの数値と比較しようと思ったら、2億6,000万の目標についても比較しようと思ったら、この1.4億円にパイプラインの電気料金、昨日、尾川さん分かる言うてましたね。またあれ、ちょっと連絡してもらえますか。山口さんに。

これまでずっと需要費、委託費と書いている。比較でずっと出ている、山口さんに作ってもらったの。今度それで、一遍に需用費に電気料金が載ってなかったら、これまでのこれと比較できへんし、目標の2.6億円に対する比較についてもおかしなるし。また、ちょっと分かるのであれば連絡が欲しいです。それをお願いします。

司会 ほか質問等ございますか。なければ、議題7、その他に移らせていただきたいと思います。今後の協議会等のスケジュールですけど、また調整させていただきます。

市 市としては、大体2か月後を予定はしております。議会の関係がありますので、また連絡は山口さんを通じてさせていただきます。協議会としては以上です。

司会 では、第43回ゴミパイプライン協議会、本日は終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

